

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100849
事業所名	グループホーム なごみの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 民生委員主催の秋桜会は、敬老会を兼ねて行うので、利用者も招待され子どもの楽器演奏やマジックなど見て楽しんでいる。町内のお祭りでは、ホームの玄関前まで子供のお神楽が来て、賑やかに太鼓などのお囃子で楽しませてもらっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回行われ、主な出席者は民生委員、老人会会長、いきいき支援センター職員、家族などである。会議の中での発言から、ホームの避難訓練に民生委員や老人会会長が参加して、利用者を誘導する係りを手伝ってもらっている。また、地域の行事の様子を聞き、参加できそうなことには出席している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護の利用者の書類提出などで役所へ出向いた折に、担当者と話をしており、コミュニケーションが取りやすい関係になっている。市町村主催の研修（食中毒、虐待についてなど）には、積極的に参加して連携を取っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の来訪時には必ず、日頃の利用者の様子を話して、意見や要望を聞いている。普段からコミュニケーションを取りやすくするように心がけている。「なごみの里便り」は、行事の写真や個々に職員がコメントを書き、毎月発行している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				